

動とは全く無関係に切り離して考える事が出来ないのではないかという事を我々は立戻って物を見ていくという事を考えて見る必要があるのではないかと思います。

MEMO

◎出席報告

会員数	68名	出席率	函館北(9/21)	98.53%
出席	39名		函館東(9/13)	98.92%
欠席	29名		函館(9/15)	祝日休会
他クラブ出席	28名		函館五稜郭(9/16)	100.00%
出席合計	67名		龜田(9/12)	84.85%
出席除外者	0名			

次回例会日 10月 11日

プログラム 夜間例会

第251地区 函館北口タリーカラフ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

SERVE TO UNITE MANKIND

全人類を結びつけるために奉仕せよ
(R.I. 会長 W. ジャック デービス)

第669回例会

1977~1978 第15号 1977·10·11



親睦活動委員長 中野 亮会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム
夜間例会 “国際社会と日本” 草柳 大蔵氏

第668回例会記録

- ◎司会 下郡山信一 会長 ◎齊唱 国歌・奉仕の理想
- ◎ビジター 東京目黒R.C. 志田正二君 函館R.C. 寺田稔君他6名
函館東R.C. 佐藤孝君他6名 五稜郭R.C. 柳沢勝君他3名
- ◎ゲスト 岡田亮輔氏 小林盛氏(志田正二氏のゲスト)

掌研大院さうけんだいがく
家主はほいふくわいしゅ
要はふきぎく見解を請ひた
詩歌大院さうけんじきさすやと思つた

★結婚祝 清水会員・飯田会員・坂坂会員・山矢会員・森秀会員・平野会員・沢村会員・佐々木会員・北村会員・田中会員・小村会員

★誕生日 北条会員(10日)・北村会員(15日)・松本会員(15日)・成田会員(20日)・沢田会員(20日)・後藤会員(23日)・大江会員(26日)・小笠原会員(29日)・山矢会員(31日)

◎会長報告 下郡山 信 一會長

先日、小樽市で今年度の地区大会が開催されました。9月30日はゴルフ大会と夕方、会長、幹事の懇談会、10月1日、2日と地区大会が開催されまして、非常に盛会でした。今回の大会では第7分区のクラブの中で、当北クラブの参加者が、最も多かったことは大変喜ばしいことでした。

地区大会の中で、特に決議されたこととか、皆様方に申し上げなければならぬことを、2~3報告致します。来年のガバナーは室蘭地区の方ですが、今回の地区大会で再来年のガバナーとして函館R.C.の太宰六郎さんが正式に指名されました。これは未だ決定された訳ではありませんが、したがいまして、再来年の地区大会は函館で開催されるのではないかと推測されます。なお、ということになると函館北R.C.がホストクラブの順番になる筈でございます。そうしますと次の会長の高杉さんは、おそらく来年の室蘭の地区大会の壇上で翌年の地区大会を引受けるという話ををしてこなければならないし、その次の会長を予定されている平野さんは、その地区大会の最高責任者になる訳で、その時には皆様の御協力を是非お願いします。

なお、非常に印象的でしたのは洞爺R.C.の皆様が、現在もう例会を開催して元気でやっているということでした。なおこの地区大会の席で10年間皆出席の方々が表彰を受けています。この北R.C.からは、野村さん、宮崎さん、それに下郡山です。

最後にお願いが一つあります。旭ヶ岡の養護老人ホームが完成し、多くの寝たきり老人の方々が養護を受けているのですが、その運営費に困窮しています。その為チャリティー講演会を開催することになりました。10月15日(土曜日)市民会館で、講師は高木東六さんでテーマは「心のメロディーとハーモニー」です。このクラブにも10枚程お願いが廻って来ていますので皆様よろしくお願ひします。

◎親睦委員会 沢田 鶴造副委員長

○ニコニコBOX投入のお知らせ

下郡山会員・野村会員・宮崎会員 10年出席100%表彰を受けました。
清水会員・斎藤会員・沢田会員・吉田会員 年次大会が無事終りましたので
松橋会員 年次大会欠席のお詫び
森 会員 会報に写真がおりました。
沢村会員 ナントナク
伊藤会員 ホームクラブ欠席がちのお詫び

◎幹事報告 北条 澄雄幹事

例会変更のお知らせ、10月12日の当クラブの例会は11日午後6時の夜間例会

となります。場所は国際ホテル、講師に草柳大蔵さんをお招きしております。

◎国際奉仕委員会 清水 幹夫委員長

皆様に御案内を致します。当国際奉仕委員会といたしましては明年5月にR.I.の東京大会がございますが、これえのアプローチといたしまして、先般、在札幌大韓民国総領事館領事、李 相源氏をお招きして卓話を頂戴致しましたがその第2弾と致しまして、10月11日火曜日午後6時から評論家の草柳大蔵さんをお招き致しまして、国際理解を深める為の卓話を頂戴することになりました。どうぞお楽しみに。

◎卓話「ワインと料理」 "バレンシア 店主 岡田 亮輔氏

今日はワインと料理というテーマですが、私は実は料理の方には、あまり詳しくはありませんが、ワインを通しての料理は説明できると思います。今日こちらに参りますと、皆様のテーブルの上にワイングラスが一つづつ置れております。此様な光景を見ることは私達ワインを知っている人間にとっては大変嬉しいことです。

ワインはフランス料理の中では切っても切れないシンフォニーの中の一部の様なものです。これはフランスではワインが安いということと水が良くないという面がございますが、このこともその理由の一つになっていると思います。フランスではワインを使って作る料理が非常に多いのですが、たとえばボジョレーという地方が有りますが、この地方のワインは非常に軽くて、くせのない明るく澄んでるワインですが、そのボジョレーを使った料理にブック・ブルギニヨンがございます。

これは牛肉を赤ワインだけで煮こんだ料理で、これにはやはりボジョレーが良いとされています。これは歴史が証明していることで、どうしょうもないことなのです。これはやはりシンフォニーの中の一部分という他説明がつきません。

フランス料理にはいろいろの香辛料を使いますが、その匂いを消す問題もありますが、これにもワインが一番です。又今日のアントレーは肉ですが、これには赤ワインに含まれているタンニン質が肉の中の血液いわゆる肉のジュースにマッチします。同様に魚には白ワインというものは両方の素材が淡泊であるということからです。例えばカキには辛口の白ワインでフランスのブルゴーニュにありますシャブリュというのが切っても切れない関係にあります。日本その他の国には数多くの酒がありますが、それ等とワインの違いは前者はむしろ酔うためを目的としていますが、後者は料理と共に食して、その持味を楽しむものです。

いろいろとワインの事を調べていきますと、函館で明治3年七飯のガルドナーのブナ林の近くでドイツ人が早くも醸造用のブドウを栽培しています。それに明治の始めフランスのワインが函館に直接陸上げされています。これは横浜などの歴史よりも古く、函館はワインにとってのある意味での草分けです。

ワインを飲むのにはマナー等はありませんが、2~3お願いしたいことがあります。

まずワイングラスを持つ場合には、足か又は底を持って下さい。そして飲む前に匂いを嗅いで色を見てやって下さい。良い香り透とおった色、これがワイ

